



身近な木の葉や、木の実を見つけて  
特徴をスケッチしよう。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

学習支援動画を見よう



こちらのQRコードから、  
学習支援動画をご覧になります。

電子ブック版はこちらから



こちらのQRコードから、  
電子ブック版をご覧になります。

※動画や電子ブックは、ほごしゃの方とっしょにご覧ください。また、動画や電子ブックのご利用には通信料が発生いたします。ご利用はWi-Fi環境をおすすめします。

年	組	名前
---	---	----

# いわての 森林の恵み ガイドブック



わたしたちの身近にある  
森林の役割を考えてみよう





# わたしたちの暮らしに さまざまなめぐみをもたらす 岩手の森林



写真:岩手山

けわしい山々がつらなる

## 奥羽山脈

岩手山、八幡平、栗駒山など、東北を代表する山があります。天然林が多く残っているため貴重な野生動物のすみかとなっています。



写真:鶴の奥断崖(田野畑村)

## きびしい環境の下で育つ海岸林

三陸海岸にはアカマツの林があります。切り立った崖と海というきびしい環境の中、独特の景観を作っています。海岸の林には、波や海風を防いだり魚のすみかを守るといった重要な役割があります。

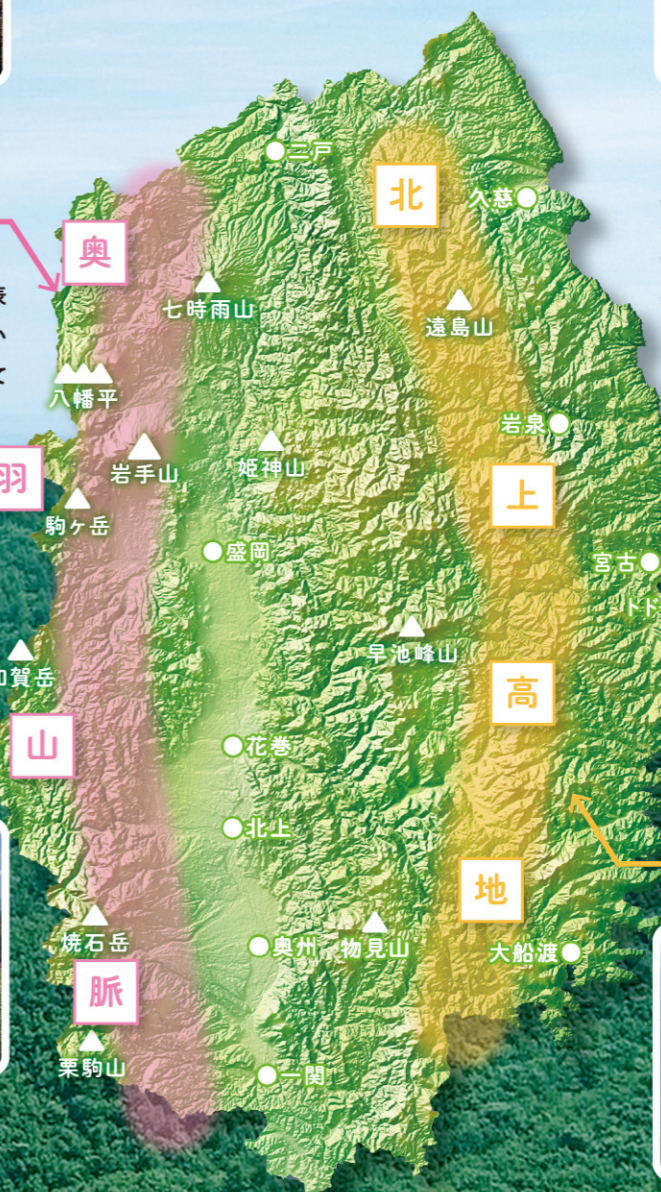


写真:閉市本寺地区

## 暮らしを豊かにする里山

里山や家の周りに造られた屋敷林など、くらしと深くかかわる林が今でも残っています。

## なだらかな地形の北上高地



写真:早池峰山

早池峰山がある北上高地は、奥羽山脈とは反対になだらかな高原が多く、昔から放牧や林業に利用されてきました。

動画を観てみよう!

空から見た岩手県の美しい森林の様子が  
見られるよ!

カンバツ君  
写真:白石峠(久慈市)から望む野田

## 日本の中でも森林が豊かな県、岩手県。

岩手県の森林面積の割合は、県全体の約80%です。日本の森林面積の割合は約70%なので、岩手県は森林が多い県、といえます。

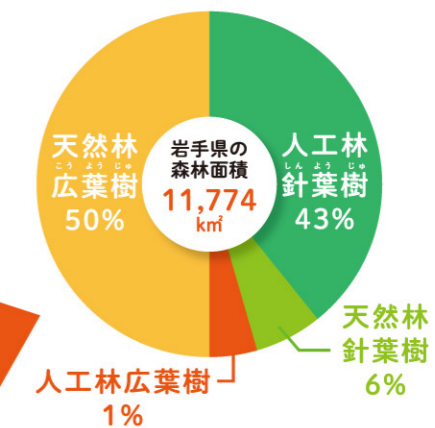
森林には、人が植えて育てた「人工林」と、自然の力で育ってきた「天然林」があります。岩手県では海岸から平野、山地までいろいろな森林を見ることができます。

### 全国における岩手県の森林面積

面積の単位:ha(ヘクタール)  
1ha=10,000㎡(100m×100m)  
1km²=1,000,000㎡(1,000m×1,000m)



### 岩手県の森林の種類



[出典] 森林・林業統計要覧2018(林野庁)



## 森林のもつはたらき



森林にはいろいろなはたらきがあり、わたしたちの暮らしに深くかかわっています。  
わたしたちに多くのめぐみをあたえてくれる森林は、みんなの大切なたからもの。  
身近にある森林に目を向け、森林がわたしたちにもたらす効果について考えてみよう。

### 二酸化炭素をとりこむ



森林は、地球温暖化の原因と言われている二酸化炭素を取りこんで、酸素をつくりだし、きれいな空気をもたらしてくれます。

### 生きもののすみかになる



森林は、動物や鳥、昆虫、植物など多くの生きもの大切なすみかになっています。  
森の豊かなめぐみが、多くのいのちを育てています。

### 水をたくわえ、きれいにする

森林のスポンジのような土は、雨水をたくわえてきれいにしながら、ゆっくりと流し出すダムのようなはたらきがあります。



こうして、澄んだ川の水をつくり、川が急にかれたり、あふれたりするのをやわらげてくれます。

### 山くずれを防ぐ

森林は、土の中に張りめぐらされた木の根で、土や岩をしっかりとさえています。



また、落ち葉や草は地面をおおって、雨の勢いをやわらげてくれます。

こうして、雨や雪が降っても、土砂が動いたり、流されたりすることを防いでいます。

### 木材などを生産する

森林は、建物の柱や家具、紙などの材料として、わたしたちの暮らしに欠かすことのできない「木材」を生み出しています。  
また、木材のほかにも、山菜やキノコなどの山のめぐみを分けてくれます。



### 心や体がやすらぐ

森林を眺めたり散歩したりすると、楽しく、すっきりとした気持ちになります。



森林には、人にやさしさをあたえたり、心や体をほぐしたりする効果があります。

### 考えてみよう①

あなたの身近な森林を探してみましょう。

森林のどんなはたらきが大切か、考えてみよう



# 02

## 森林と人の関わり



日本は、世界でも有数の「森林国」と言われています。  
 わたしたちの暮らしが豊かで便利になる一方で、地球規模では、森林の減少や地球温暖化といった問題も発生しています。  
 わたしたち日本人が、森林とどう関わってきたのか、そして、これからどう共に生きていくべきか、歴史をみながら考えてみましょう。

### 森林と人の歴史

日本の歴史

岩手の歴史

約1万年前 BC8世紀 BC4世紀 BC2世紀 BC1世紀 0 100年 200年 300年 400年 500年 600年 700年 800年 900年 1000年 1100年 1200年 1300年 1400年 1500年 1600年 1700年 1800年 1900年 2000年

**縄文人の暮らしと森林**

はるか昔から、日本人は、森林と共に生きてきました。縄文時代の人々は、クリやクルミといった木の実は食料にしたほか、石斧で木を倒し、木材を丸木舟などに加工していたと考えられています。縄文時代のこのような様子は、当時の遺跡の出土品から知ることができます。

**木材の加工技術の高度化と木材利用**

飛鳥時代になると、寺院などの大きな木造の建物が多く建てられるようになりました。奈良県にある法隆寺は、残っている木造の建築物としては世界で最も古いとされています。法隆寺に使われたヒノキは、古くから広く日本で使われ、日本の木の文化を築いてきました。

**森林の減少と江戸時代の森林政策**

江戸時代になると、人口が集中した大都市では、木材が大量に必要となったため、全国各地で森林が伐採され、森林の減少や自然災害といった問題が深刻になってきました。このため、幕府や藩によって、森林の伐採を禁止する制度や、森林をよみがえらせるための植林など、森林を保全するための政策が行われるようになりました。

**木材輸入の自由化と林業**

日本では、戦後の復興や経済成長により、大量の木材が必要となったことから、国内で不足する木材を外国から輸入するようになりました。しかし、外国の木材が安い価格で大量に入ってきたことや、働く人の高齢化などで、しだいに日本の林業は活気を失い、きびしい状況になっていきます。

**活気を取り戻す林業**

きびしい状況にあった林業ですが、高い性能をもつ林業機械を取り入れて、木を切ったり、運んだりする作業を楽にしたり、林業で働く若い人を育てる取り組みが行われています。最近では、木材は環境にやさしい資源であることや、国産材の品質の良さなどが見直され、林業は活気を取りもどしています。

年号 先土器 縄文 弥生 古墳 飛鳥 奈良 平安 鎌倉 室町 安土桃山 江戸 明治 大正 昭和 平成

**縄文時代までさかのぼる「うるし」**

うるしの木の幹を傷つけ採取した樹液は「生うるし」と呼ばれ、漆器の製作や文化財の修復などに使われています。すでに縄文時代には、木製品にうるしを塗る技術があったことが分っており、県内の遺跡からは、うるしを塗った木のくしなどが発掘されています。

御所野遺跡から見つかったはり・けたを用いた土屋根柱居 (復元) (一戸町)

萩内遺跡から見つかったうるし塗のくし (盛岡市)

写真提供(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

**平泉文化の繁栄と木の文化**

平泉の文化遺産の代表的な建築物である中尊寺金色堂は、今から約900年前に建てられました。使用された木材が切られた時期を調べたところ、1114年～1116年ごろであることがわかっています。奥州藤原氏の繁栄の持ちよとなっている金色堂には、「うるし」を使ったたくさんのかざりがあります。

中尊寺 (平泉町)

**身近にある近代の木造建築物**

明治の終わりから昭和のはじめにかけて、小岩井農場にたくさんの施設がつけられました。多くが木造で、そのほとんどが今でも残っており、大切に使われています。これらの古い木造施設は、平成28年には国の重要文化財に指定されています。

小岩井農場施設群/本部事務所 (雫石町)

**東日本大震災津波で流失した海岸防災林**

岩手県の海岸沿いには、海からの風や潮による被害を防ぐため、古くからたくさんの木が植えられてきました。陸前高田市の「高田松原」は、古くは江戸時代に植えられた約7万本のアカマツやクロマツの松林が広がり、県内でも有数の景観をほこっていましたが、津波によって失われてしまいました。現在、この松林を元の姿へともどすため、マツを植林し大切に育てています。かつての美しい松林にもどるまでには、50年もの年月がかかります。

50年後の高田松原の姿 (イメージ)

### 考えてみよう②

### どんな建築物があるか、書いてみよう

岩手県で国指定重要文化財に指定されている木造建築物を調べてみよう。

参考: H13森林・林業白書 我が国における森林と人間とのかわり  
 H25森林・林業白書 我が国の森林整備を巡る歴史  
 (1)戦前までの森林整備等の状況、(2)戦後の森林の荒廃と復旧





林業は、人が自然の力を借りて森林を育て、木材を生産する仕事です。  
長い時間をかけて、そのときどきに必要な手入れをしながら育った森林は、木材となって、さまざまな形でわたしたちの生活に役立つものに使われます。

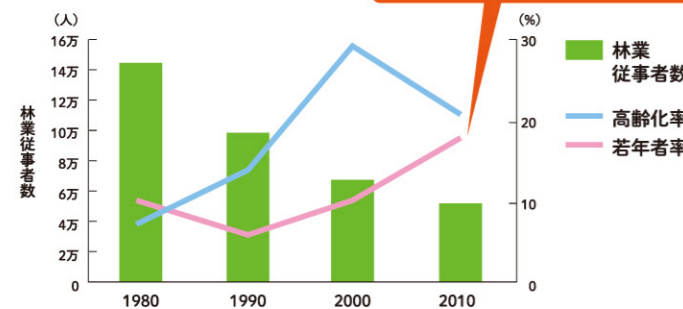
### 林業・木材産業の今

日本では、戦後の復興や経済成長により、木材が大量に必要となったため、森林伐採と跡地への植林がさかんに進められてきました。そして、現在は戦後に植林された多くの木々が成長し、森林資源として利用できるようになっています。

この豊富な森林資源を活かし、現在は、国を挙げて林業をさかんにする色々な取り組みが行われています。また、自然の中で働くことができる林業が見直され、林業で働く若い仲間も増えています。

今、林業は、いろいろな可能性を秘めた将来性がある産業として、注目されています。

#### ● 林業従事者数の推移



若者の就業率は  
増えている

※高齢化率とは、65歳以上の従事者の割合 ※若年者率とは、35歳未満の若年者の割合  
【出典】林野庁ホームページ 林業労働力の動向

## 森林を育てる 林業の仕事



### 木材の利用

- 建物の建築**
  - 学校などの公共施設
  - 住宅などの建物 など
- 木工製品**
  - 木工芸品
  - 間伐材を利用した家具・食器・おもちゃ など
- 紙**
  - 印刷用紙
  - 飲料容器 など
- 燃料**
  - 木炭や薪
  - 木質ペレット・チップ など

### インタビュー



Q. 林業ってどんな仕事？

木を伐って終わりではなく  
次の世代につなげる仕事です。

自然相手の仕事なので、夏は暑く冬は寒いという気象条件に対してのつらさがありますが、それもまた面白いと考えています。木を伐って終わりじゃなくて、ちゃんと植えて次の世代につなげる環境をつくっていくので、自然が好きな人にとって林業はとても良い仕事だと思います。

いわてまち  
● 岩手町  
よこざわ  
横澤林業株式会社  
ひなた かい  
日向 海さん  
たまきわ  
(滝沢市出身)



動画をみてください！  
林業の  
仕事の様子を  
みてください！

Q. 林業をはじめたきっかけは？

重機に憧れていたのと、  
自然の中で仕事ができるから。

高校3年生のまだ進路がはっきりしていない時に、先生の紹介で林業の仕事を見学に行きました。小学生の時に憧れていた重機に乗ることができたり、自然の中で仕事ができるところが「いいな」と思いました。

Q. 工夫や努力していることは？

植えた苗の成長を考えて  
丁寧に作業しています。

一番心がけているのは「安全第一」です。また、効率よく作業することも考えています。雑草などを刈る「下刈り」の時は、植えた苗を誤って刈ってしまわないよう丁寧に作業することを意識しています。職場には年齢が近い人がいるので、助け合い、支え合いながら楽しく仕事ができていると思います。自分が作業したところを人に見てもらい「すごいなあ」と言ってもらえた時には、やりがいを感じますね。





# 04 森林を守り育てる活動



岩手県内では、各地域で「森林を守り育てる活動」が行われています。  
ここでは、その活動の一部を紹介します。

## 県民参加による森林づくり活動



県では、県民の森林づくりへの参加を進めるため、地域の住民や団体みなさんが主体となって取り組む、森林をつくる活動や、森林を学び活かす活動などを支援しています。

## 海岸防災林の再生



東日本大震災津波で流失した岩手県沿岸の海岸防災林を再生するため、震災後、全国からたくさんの支援をいただき、復旧が進められています。苗木の提供や植樹など、多くの方々の手が加わり、成長への願いが引きつがれながら、再生活動が進められています。

## いわて森のゼミナール



県では、小中学校で、森林インストラクターなどを講師とする森林環境学習を行う「森林学習会」や、地域の自主的な森林環境学習活動を支援する「森の実践ゼミナール」など、県民に森林・林業を学習する機会を提供しています。

## 企業の森づくり活動



県では、企業や団体が社会貢献活動として行う森づくり活動への支援を行っています。金ケ崎町の株式会社デンソー岩手では、町内の千貫石森林公園で、社員ボランティアによる枝打ちや、下刈りなどの森林整備活動に平成22年度から継続して取り組んでいます。

### ● 学習施設のご案内

岩手県には森林や林業に関する情報を集めた学習施設があります。

## 岩手県民の森 森林ふれあい学習館フォレストi

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木1-515-5  
● お問い合わせ: 0195-78-2092

【開館時間】9時～16時

【休館日】火曜日(祝祭日の場合翌日振替)、12月29日～1月3日



# 05 身近な自然に触れてみよう



## いろいろな木の葉や木の实



### スギ

まっすぐな幹で、樹形は三角形です。主に建築用として利用され、日本で一番多く植えられています。葉は1年中落ちない木です。針葉樹。



### アカマツ

岩手県の木。樹皮に赤みがあるのでこの名前がついています。水分や養分が少ないきびしい環境でも生きていけるのはマツタケと助け合っているからです。針葉樹。



### ケヤキ

北海道以外の全国に分布。建築や家具用材などとして利用価値が高い木です。秋には美しい紅葉し、晩秋には葉を落とします。落葉広葉樹。



### イロハモミジ

切れ込みが入った葉を「いろはにへ」と数えたことからこの名前がつけました。秋には美しい紅色に紅葉するので、公園などによく植えられています。落葉広葉樹。



### コナラ

どんぐりのなる木。樹液にはカブトムシが集まり、小型のほっそりとしたどんぐりがなります。しいたけ栽培の原木や木炭の原料に使われます。



### イチヨウ

おうぎ形の葉が特徴で、街中でも多く見られます。秋にはあざやかな黄色に黄葉すると共に、食べられるギンナンの実がなります。

## 森林でくらす動物

ニホンツキノワグマ、ニホンリス、ホンドギツネ、ホンドタヌキ、ニホンカモシカなどが生息しています。

動画を観てみよう!  
岩手の森にすむ動物の鳴き声が聞けるよ。  
何の動物か考えてみよう!



### 参考文献

三輪雄四郎(1999)『図説-木のすべて2.木と人間の歴史』大日本図書  
野口俊邦(1997)『森と人と環境』新日本出版社